



名鉄病院 news letter

人に寄りそう 命と向き合う

令和5年 冬号

名鉄病院褥瘡対策チーム



撮影：薬剤師 河野 礼子

新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染の流行も早4年目に突入しようとしています。ウイルスは変異を繰り返し、重症化は少なくなりましたが、さらになお、感染力はアップしているようです。ただ、世の中も徐々にできるだけ通常の社会に復帰する方向で動き始めているように思います。新型コロナウイルス感染は今後も続くのかもしれませんが、post コロナ、with コロナを見据えて、今年は色々社会が動き出す年になりそうです。現在の新型コロナウイルス感染の感染症法上の2類がいつまで続くのにもよりますが、病院自体も新型コロナウイルス感染は気遣いながら、今年は社会と歩調を合わせて徐々に通常の病院機能や業務に戻る時期になるかもしれません。名鉄病院も地域の医療機関の皆様とも以前のような顔の見える連携ができない時期もありましたが、昨年末には久しぶりに先生方に参加していただく連携の会も実施することができました。今年はさらに充実した連携活動を実施したいと思っています。いずれにしろマスクの生活や黙食、アクリル板を通しての会話から一日も早く脱却したいものです。



名鉄病院
病院長

葛谷 雅文





名鉄病院褥瘡対策チーム



1 じょくそう 褥瘡とは

褥瘡とは言い換えると『床ずれ』です。自分で動けない場合や、治療のための安静により長時間同じ姿勢でいると臀部（おしり）や背部（背中）踵などに圧力が加わり、血液の流れが悪くなることにより生じる皮膚の創傷です。栄養状態が十分ではなく、やせて骨が出ている方に発生しやすいです。圧力やずれ、摩擦、そしてmicroclimate（湿潤）が発生の要因になっています。

2 名鉄病院の褥瘡対策

患者さんが、褥瘡発生することなく治療を終え、もとのすまい、療養場所に戻ることが出来るよう支援させていただきます。また、地域や他医療機関と連携し、継続した対応策を考えご提案出来ることをめざし、医療圏にお住まいの皆様のお力になれるように努めてまいりたいと思います。

3 褥瘡対策の実際

1) 褥瘡予防対策

当院の標準マットレスは、ウレタンフォームマットレスで、固い面と柔らかい面を患者さんの寝心地に合わせて使用出来るようになっています。褥瘡のリスクアセスメントは厚生労働省の褥瘡リスクアセスメントとOHスケールで行い、患者さんにあったマットレスを選択出来るようにシステム化しています。スモールチェンジを取り入れた、自動体位変換機能付きのエアマットや、用手でずれや摩擦を回避出来るようにとりくんでいます。



スマイリーコントアマットレス



ソフィアマットレス

標準マットレスの
見直しを定期的
に行っています



2) 手術室における褥瘡予防対策

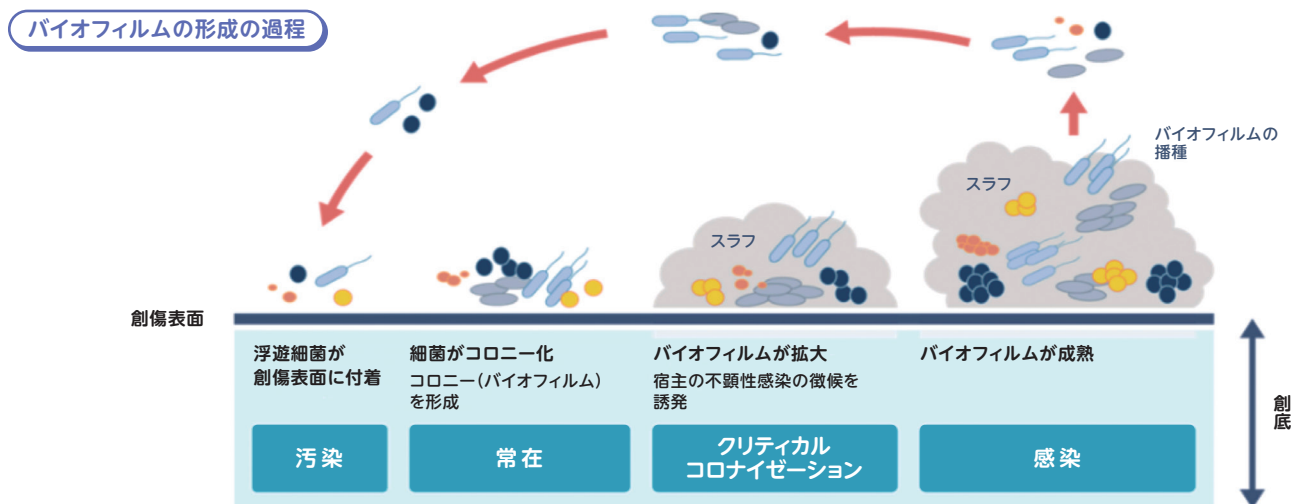
6時間を超える全身麻酔の手術や、特殊体位（側臥位、ビーチチェア位、碎石位、頭低位など）は同じ部位に圧力が加わりやすく、きめ細やかな褥瘡対策が必要となります。特に手術操作などに影響することなく、予防を行うために援助する看護師と執刀医師とこまめに姿勢の打ち合わせをしながら対策に臨んでいます。手術室看護師による術前訪問で患者さんと対面し、必要時にはシリコンフォームドレッシングを貼用することで褥瘡予防につとめています。当院では、手術室における褥瘡発生はほぼありません。

予防的に
アレビンライフ
を導入



3) 褥瘡治療

現在の褥瘡治療は2019年に開催された専門家国際諮問委員会で言及されたWound Hygiene (創傷衛生) という考え方をもとに取り組んでいます。48時間から72時間かけて繰り返しバイオフィルムが再形成されます。そのため下記ステップに沿った治療を行っています。



創傷管理のSTEP

- STEP1 洗浄(創部と創周囲の清浄化)
- STEP2 デブリードマン
- STEP3 創縁の新鮮化
- STEP4 創傷の被覆



4 褥瘡回診と褥瘡ケアチームメンバー

入院時から褥瘡を有している患者さん、院内で褥瘡が発生した患者さん、褥瘡発生のリスクの高い患者さんには、皮膚科医師と褥瘡専従看護師、褥瘡ケアチームメンバーで褥瘡回診を毎週実施しています。

褥瘡の治療及び発生要因の検討、予防策やケア方法の提案を行っています。褥瘡ケアチームは、皮膚科医師、皮膚排泄ケア認定看護師、手術部看護師、病棟看護師、薬剤師、管理栄養士で構成されています。定例会では、褥瘡の発生要因を明らかにし、治療方法、薬剤管理、栄養管理、体圧分散寝具の選択や予防ケア方法について環境を整えることを含めて協議しています。



褥瘡管理について何かございましたらお気軽にご相談ください



たんぱく質が摂れる ヘルシー豆腐グラタン

小麦粉や牛乳、生クリーム、バター不使用なので脂質が気になる方にもおすすめ。カロリーオフのマヨネーズを使用して頂くとより脂質をカットできます。グラタンでよく使われるベーコンはツナで代用、ホワイトソースに豆腐を使用することでたんぱく質も十分に摂ることができます。腸内環境を整えてくれる発酵食品のみそやチーズとも相性抜群です。野菜を沢山いれれば更に栄養価の高い一品に。

(※味噌は塩分が多いので使いすぎは注意が必要です)



【材料2人分】

- ツナ缶 1缶
- ピザ用またはスライスチーズ お好み量
- 冷凍ブロッコリー (ほうれん草でも可) 80g程度
- しめじや舞茸 お好み量
- 絹豆腐 1丁
- マヨネーズ 大匙1
- 合わせ味噌 大匙1

【作り方】

- ① 絹豆腐をキッチンペーパーで包み600wで3分加熱し水気を切っておく ブロッコリーは解凍しておく
- ② ボウルに水切りした豆腐と味噌とマヨネーズを入れ、なめらかになるまでよく混ぜる
- ③ 油を切ったツナ、ブロッコリー、しめじを②と混ぜる
- ④ 耐熱皿に③を入れチーズをのせる。
トースターで焼き色がつくまで焼いて完成



名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生2-26-11
URL <https://www.meitetsu-hospital.jp/>
TEL 0570-023100 (ナビダイヤル)



経営主体

名古屋鉄道健康保険組合

病床数

HCU	12床
一般病床	321床(7:1看護)
地域包括ケア病床	40床
合計	373床

診療科目

- 内科
- 脳神経内科
- 小児科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 血管外科
- 循環器内科
- 血液内科
- 小児漢方内科
- 女性泌尿器科
- 麻酔科
- 腎臓内科
- 内分泌・代謝内科
- 外科
- 脳神経外科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 消化器内科
- 透析内科
- 消化器外科
- 婦人科
- 眼科
- 病理診断科
- 呼吸器内科
- 老年内科
- 整形外科
- 皮膚科
- 形成外科
- リウマチ科

診療センター

- 内視鏡センター
- 関節鏡・スポーツ整形外科センター
- 予防接種センター
- 周術期管理センター
- 認知症疾患医療センター
- 健診センター
- 透析センター
- 糖尿病センター
- ウロギネセンター
- 中耳サージセンター

専門外来 ※予約制 (一部を除く)

- 禁煙外来
- ASO外来
- シルバークリニック
- 糖尿病透析予防外来
- 小児慢性疾患外来
- 関節鏡外来
- 小児整形外科外来 (月1回・不定期)
- リウマチ膠原病内科
- パースメーカー外来
- インスリン導入外来
- フットケア外来
- 乳腺外来
- スポーツ外来
- 女性泌尿器科外来 ほか
- スポーツ内科 (他院から紹介のみ)
- 肝臓外来
- 糖尿病眼合併症外来
- 乳児健診
- ストーマ外来
- 音声外来



1号館前の名鉄病院駐車場について
平日7時〜17時の利用で、来院の方は割引サービスが可能です。
1号館1階Aブロックか2階総合受付に、駐車券を事前に提示して割引
認証を受けてください。
また、病診連携専用の駐車場も用意しておりますので、詳しくは地域医療
連携室までお問合せください。

病診連携・紹介状に関するお問い合わせは

地域医療連携室 TEL. 052-586-5755 FAX. 052-586-5756

本紙内容に関するお問い合わせは

事務部総務課 TEL. 052-551-6299 FAX. 052-551-6711